

第31期（2015年12月期） 第3四半期
決算補足説明資料

2015年11月5日
サイバネットシステム株式会社

つくる情熱を、支える情熱。
CYBERNET

略式記号について

14.12/3Q	2014年 12 月期 第3四半期期間
14.12/3Q累計	2014年 12 月期 第3四半期累計期間
14.12	2014年 12 月期 通期
15.12/3Q	2015年 12 月期 第3四半期期間
15.12/3Q累計	2015年 12 月期 第3四半期累計期間
15.12E	2015年 12 月期 通期予想
調整後13.12	2013年 12 月期を12ヶ月に調整した通期

※ 当社は2013年12月期より決算日を3月31日から12月31日に変更いたしました。これに伴い、2013年12月期は、2013年4月1日から2013年12月31日までの9ヶ月間となっております。

◆ 2015年12月期 第3四半期 決算の概況


[連結]業績の概況	5
[連結]営業利益の増減要因(前年同期比較)	6
[連結]営業利益の増減要因(計画比較)	7
[連結]貸借対照表	8
[連結]キャッシュ・フロー計算書	9
[連結]四半期売上高の推移	10
[連結]セグメント別損益の概況	11
[連結]事業別売上高の増減要因(前年同期比較)	12
[連結]事業別売上高の構成比	13
[連結]事業別営業利益の増減要因(前年同期比較)	14
[個別]ソリューション別の概況	15
[個別]応用分野別売上高	17
[個別]業種別売上高	19
[個別]ライセンス契約別売上高	21
[連結]海外子会社の状況	22

◆ 2015年12月期 業績予想

[連結]当期の業績予想	25
[連結]当期の配当予想	26

◆ 参考資料

個別業績及び予想等を記載しております。



2015年12月期 第3四半期 決算の概況

つくる情熱を、支える情熱。
CYBERNET

[連結]業績の概況

CYBERNET

(単位:百万円)

	15.12/3Q累計	14.12/3Q累計			15.12/3Q累計		
	実績	実績	前同差	前同比	計画	計画差	計画比
売上高	11,792	11,604	+ 187	101.6%	12,526	▲ 733	94.1%
営業利益	600	488	+ 111	122.9%	563	+ 37	106.6%
営業利益率	5.1%	4.2%	+ 0.9P		4.5%	+ 0.6P	
経常利益	706	611	+ 94	115.5%	660	+ 46	107.0%
経常利益率	6.0%	5.3%	+ 0.7P		5.3%	+ 0.7P	
四半期純利益	264	235	+ 28	112.2%	331	▲ 66	79.9%
四半期純利益率	2.2%	2.0%	+ 0.2P		2.6%	▲ 0.4P	

※P:ポイント

◆ 業績の概況

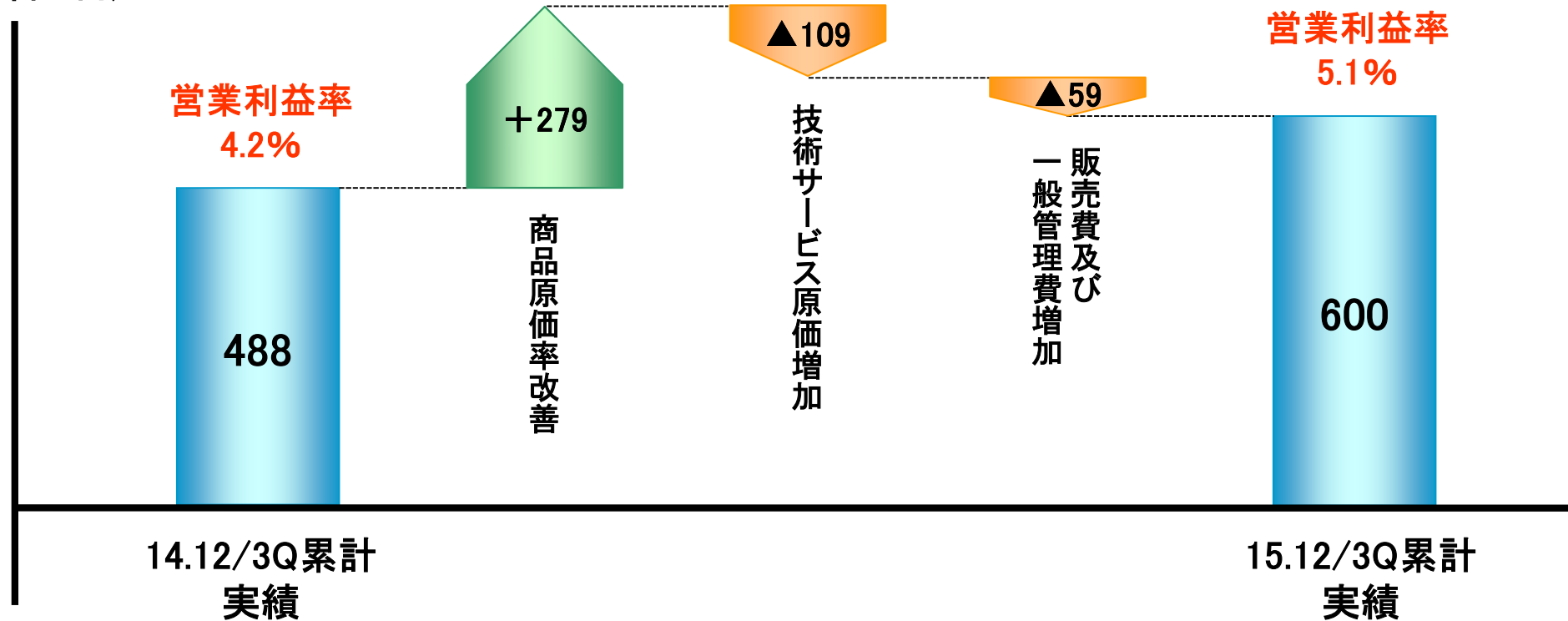
国内売上高は、ITソリューションサービス事業は好調に推移いたしましたが、前期において可視化分野で教育機関から大型案件の受注があったこと及びEDA分野で変更を行った取扱商品が立ち上げ段階のため、前年同期に比べ低調に推移いたしました。海外売上高は、中国の販売子会社や欧米の開発子会社が好調に推移したことに加え、円安による為替の影響もあったため、前年同期に比べ好調に推移いたしました。そのため、売上高は前年同期を上回りました。

利益面では、円安による為替の影響や税制改正に伴う法人税率の変更による繰延税金資産の取崩しの影響等がありましたが、売上高の増加や商品原価率が改善したことにより、営業利益、経常利益、四半期純利益は前年同期を上回りました。

[連結] 営業利益の増減要因(前年同期比較)

CYBERNET

(単位:百万円)



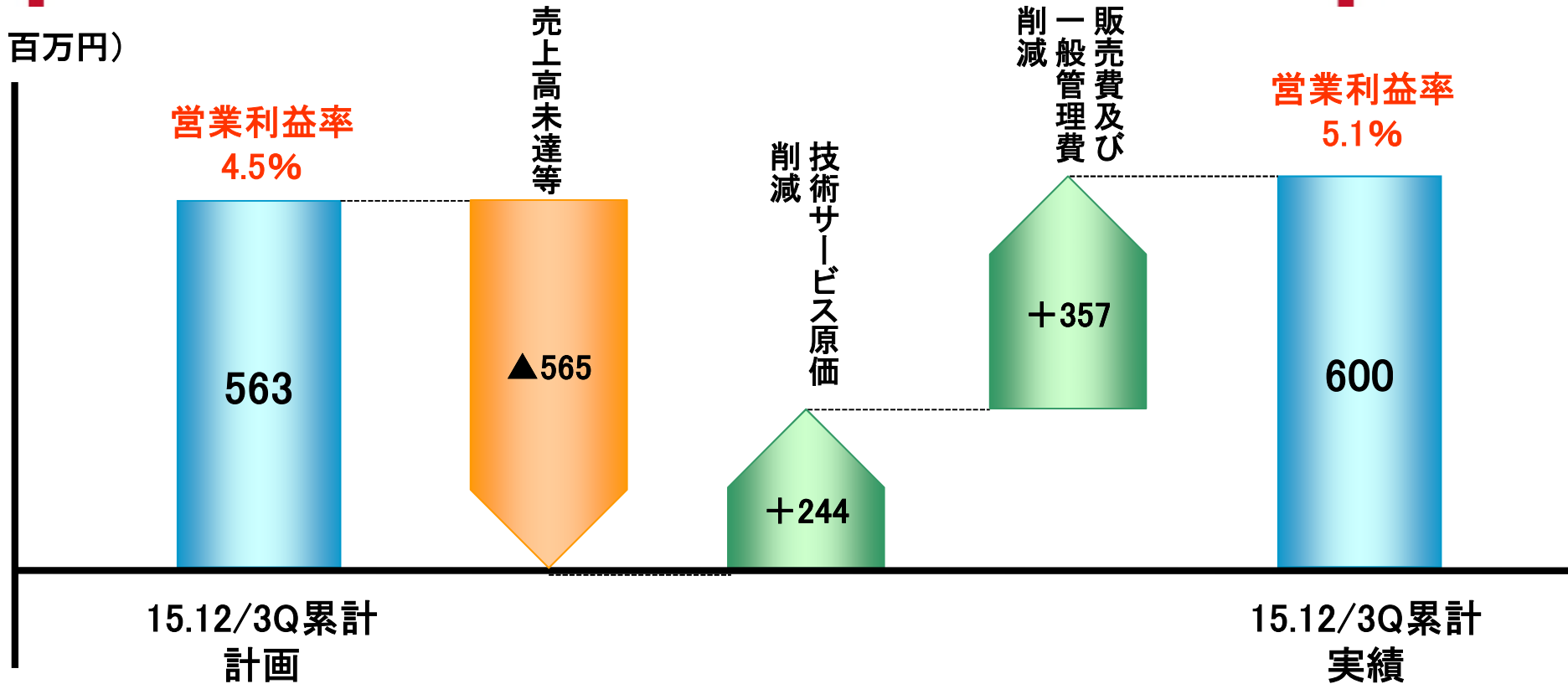
◆ 前期比増減要因

商品利益は、国内売上高が伸び悩んだことによる減益要因がありましたが、前期の可視化分野における大型案件の商品原価率が高かったこと等により商品原価率が改善したこと、ITソリューションサービス事業や欧州の開発子会社が好調だったことに加え、円安による為替の影響等もあったため、前同差279百万円の増益となっております。

営業利益は、円安による為替の影響等による経費の増加がありましたが、前同差111百万円の増益となっております。

[連結] 営業利益の増減要因(計画比較)

(単位:百万円)



◆ 計画比増減要因

商品利益は、主力のマルチフィジックス解析ツールの新規ライセンス販売や、EDA分野の取扱商品の変更に伴い販売を開始した電子回路基板設計ソリューションが売上未達となったことにより、計画比565百万円の減益となっております。

営業利益は、採用計画差異等による人件費の減少や為替計画差異及び経費未消化等による経費の減少により、計画比37百万円の増益となっております。

[連結]貸借対照表

CYBERNET

(単位:百万円)

	14.12	15.12/3Q	前期末差
流動資産	14,503	14,634	131
現金及び預金	3,343	2,699	▲ 643 ①
受取手形及び売掛金	3,520	3,427	▲ 92
有価証券	3,010	4,000	990 ②
短期貸付金	3,020	3,139	118
その他	1,608	1,367	▲ 240
固定資産	5,362	4,194	▲ 1,168
有形固定資産	339	327	▲ 11
無形固定資産	3,466	2,997	▲ 469 ③
投資その他の資産	1,556	869	▲ 687 ②
資産合計	19,865	18,829	▲ 1,036
流動負債	4,733	4,247	▲ 486
買掛金	1,029	1,215	185
未払法人税等	430	11	▲ 418
前受金	2,034	1,960	▲ 74
賞与引当金	447	172	▲ 274
その他	790	887	96
固定負債	913	1,132	218
退職給付に係る負債	845	1,070	225
その他	68	61	▲ 6
負債合計	5,647	5,379	▲ 267
純資産合計	14,218	13,449	▲ 768 ④
負債純資産合計	19,865	18,829	▲ 1,036

◆ 前期末差増減要因

- ①現金及び預金（前期末差 ▲643百万円）
法人税等の支払額▲695百万円により減少しております。
- ②有価証券（前期末差 990百万円）
投資その他の資産（前期末差 ▲687百万円）
債券の購入7,300百万円、債券の償還▲7,100万円
及び長期から短期への振替800百万円により増加
しております。
- ③のれん（前期末差 ▲674百万円）
償却▲286百万円及び為替換算▲388百万円により
減少しております。
- ④純資産合計（前期末差 ▲768百万円）
剰余金の配当▲472百万円、為替換算調整勘定
の減少▲432百万円により減少しております。

[連結]キャッシュ・フロー計算書

CYBERNET

(単位:百万円)

	14.12/3Q累計	15.12/3Q累計	前同差
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,028	544	▲ 483
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 1,888	1,345	3,233
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 335	▲ 479	▲ 143
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲ 17	▲ 44	▲ 26
現金及び現金同等物の増減額	▲ 1,213	1,366	2,579
現金及び現金同等物の期首残高	4,042	4,239	197
連結範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増加額	135	—	▲ 135
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,963	5,606	2,642

◆ 前年同期比増減要因

営業活動によるキャッシュ・フロー

債権債務の増減等ありますが、主に法人税等の支払額の増加によりマイナスとなっております。

投資活動によるキャッシュ・フロー

主に資金運用のための投資有価証券の取得による支出が減少したことによりプラスとなっております。

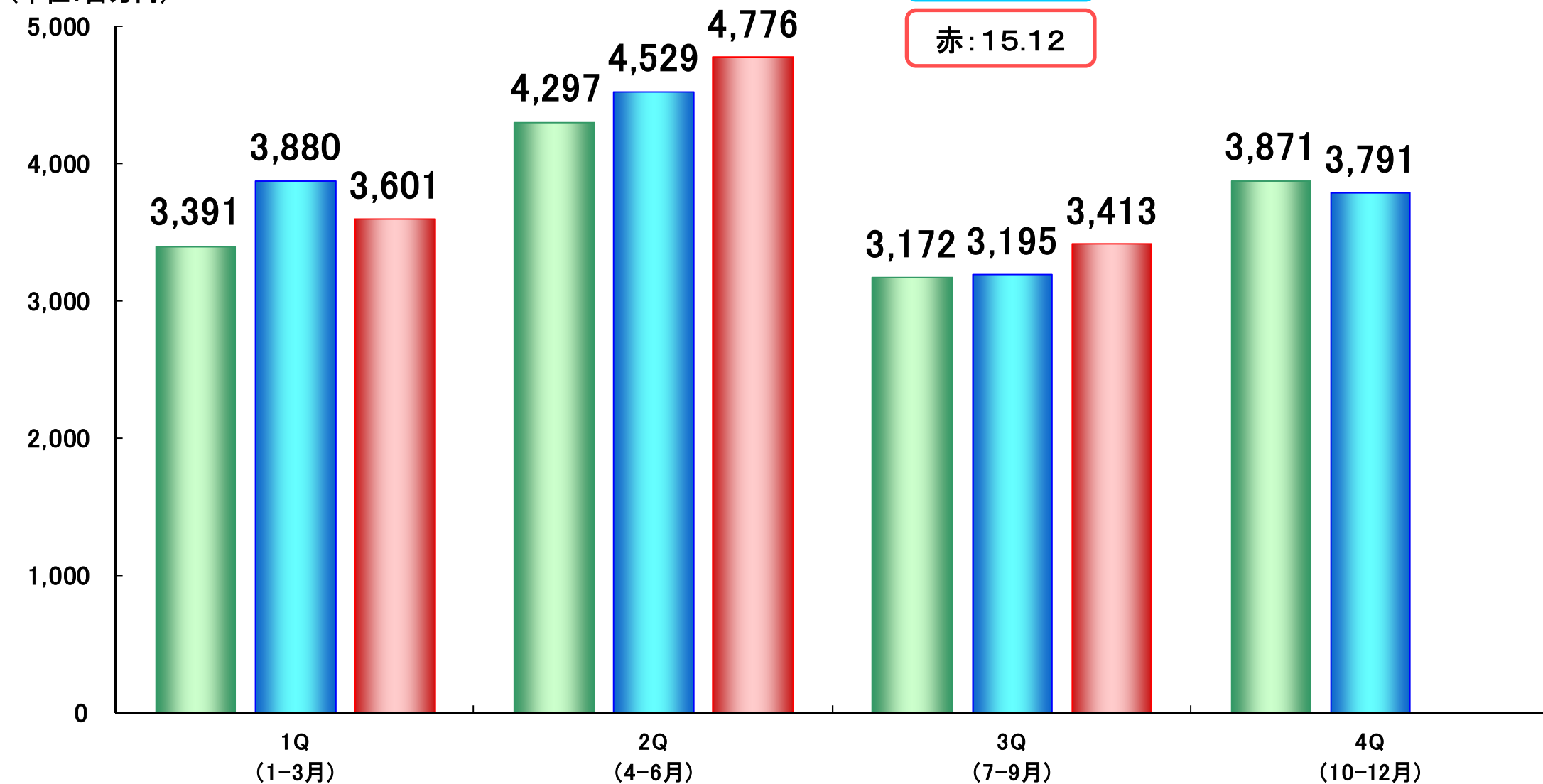
財務活動によるキャッシュ・フロー

主に配当金の支払額が増加したことによりマイナスとなっております。

[連結]四半期売上高の推移

CYBERNET

(単位:百万円)



[連結]セグメント別損益の概況

CYBERNET

(単位:百万円)

	14.12/3Q累計	15.12/3Q累計		
	実績	実績	前同差	前同比
売上高 合計	11,604	11,792	+ 187	101.6%
CAEソリューションサービス事業	10,480	10,445	▲ 34	99.7%
ITソリューションサービス事業	1,124	1,347	+ 222	119.8%
調整額	—	▲ 1	▲ 1	—
セグメント利益(営業利益) 合計	488	600	+ 111	122.9%
CAEソリューションサービス事業	1,486	1,513	+ 26	101.8%
ITソリューションサービス事業	79	160	+ 81	203.0%
調整額	▲ 1,077	▲ 1,074	+ 3	99.7%

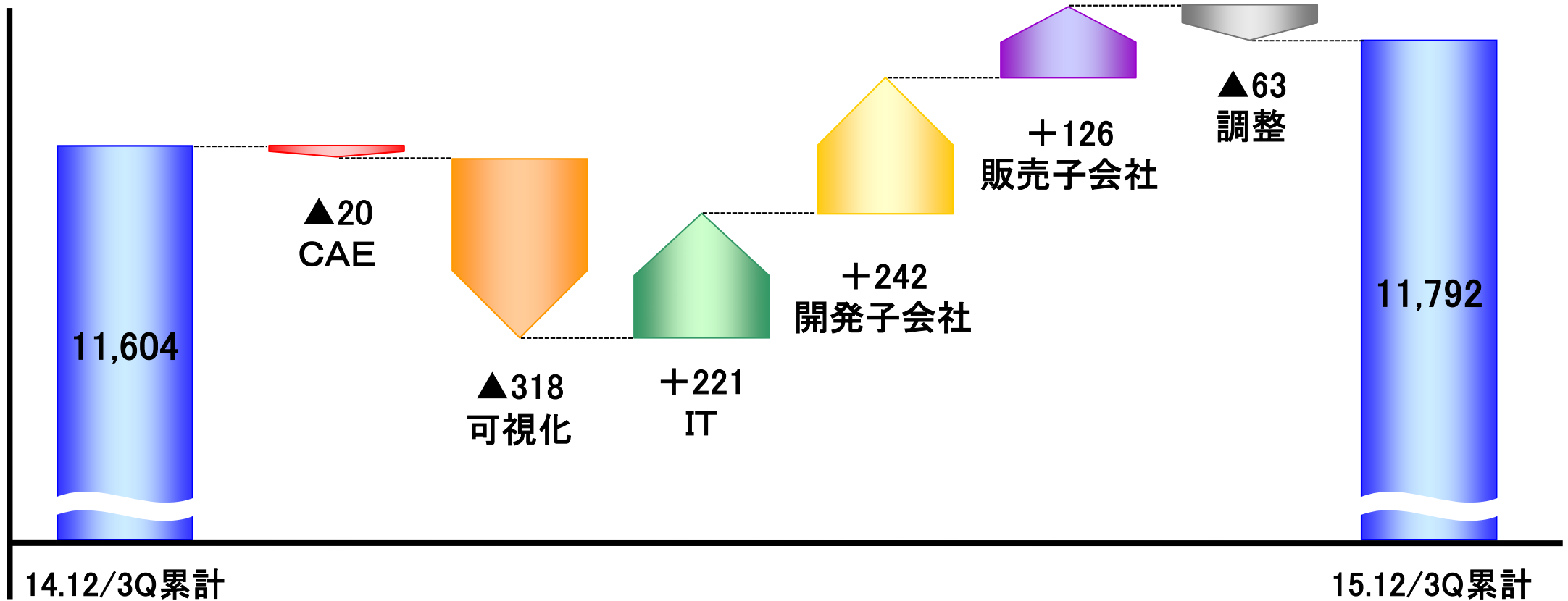
注) 調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれており、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

注) CAEソリューションサービス事業はCAE、可視化、開発子会社、販売子会社の合計です。

[連結]事業別売上高の増減要因(前年同期比較)

CYBERNET

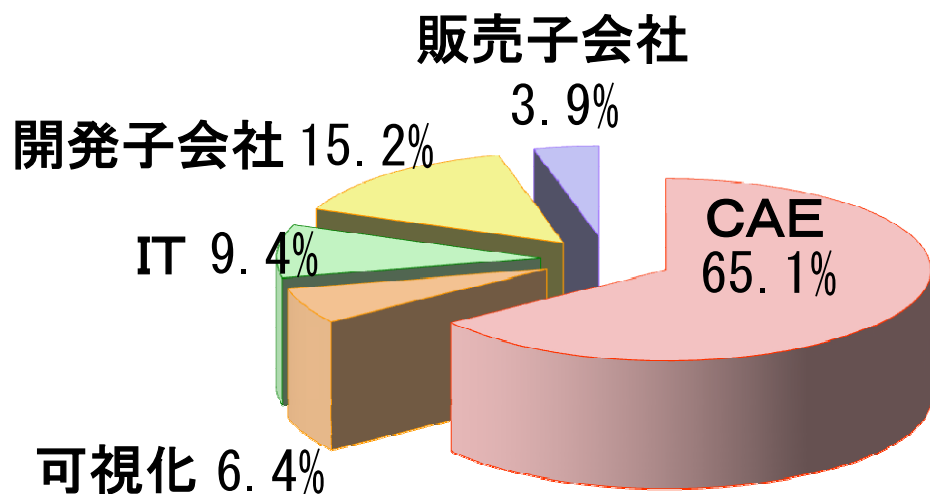
(単位:百万円)



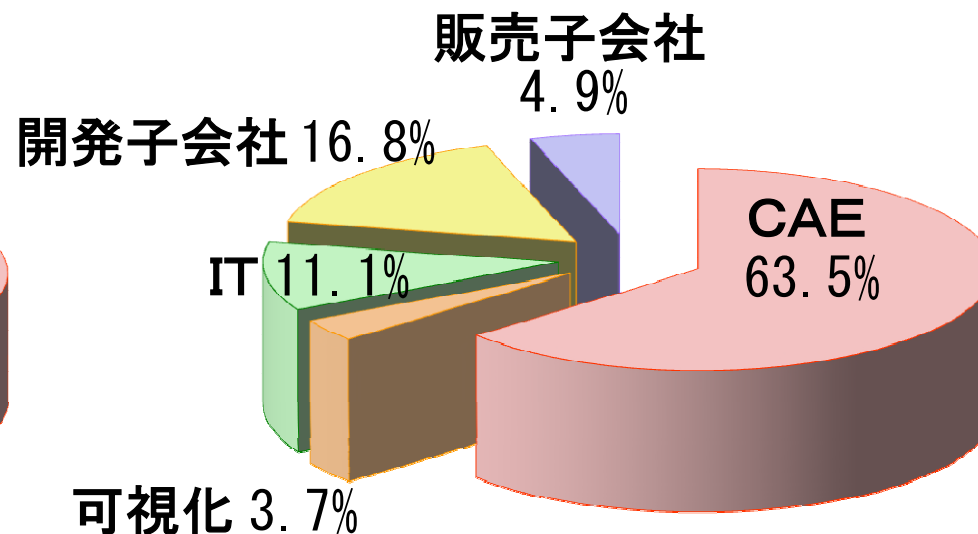
注) 各事業の分類は以下となります。

- ・ CAEとは、個別におけるCAEソリューションサービス事業となります。(可視化分野除く)
- ・ 可視化とは、個別における可視化分野となります。
- ・ ITとは、個別におけるITソリューションサービス事業となります。
- ・ 開発子会社とは、連結対象の欧米の開発子会社3社の合計数値となります。
- ・ 販売子会社とは、連結対象のアジアの販売子会社3社の合計数値となります。
- ・ 調整とは、連結調整となります。

[連結]事業別売上高の構成比



連結売上高
11,604百万円
14.12/3Q累計



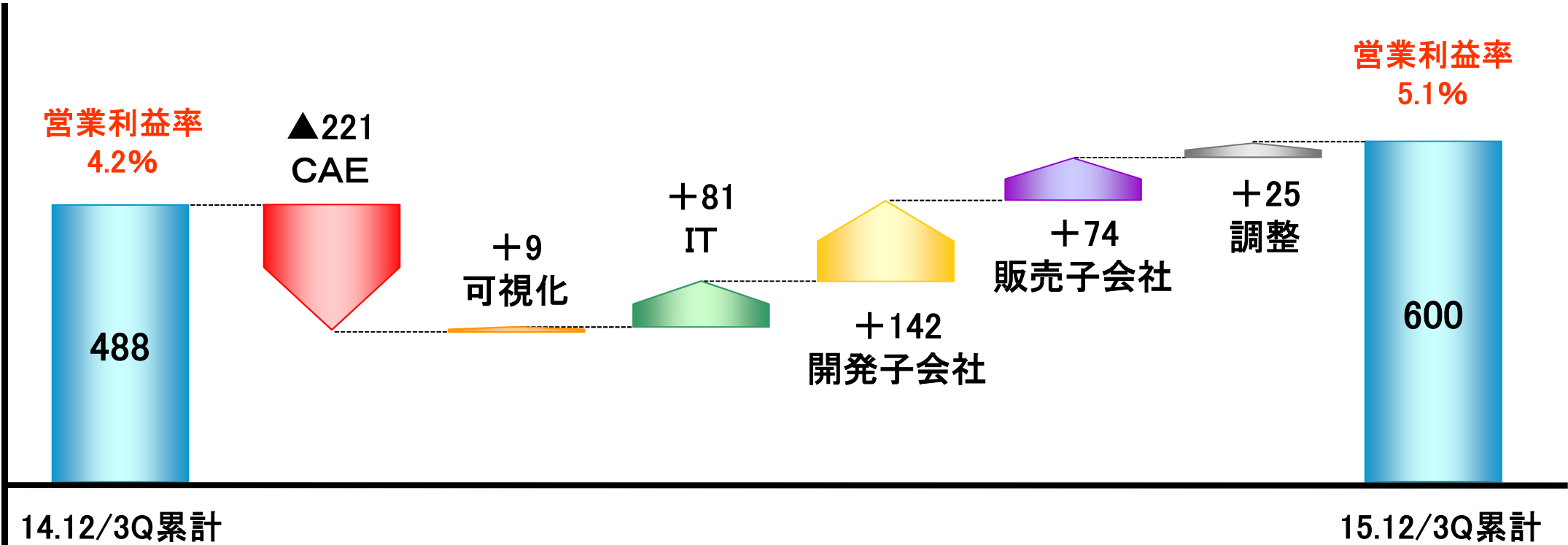
連結売上高
11,792百万円
15.12/3Q累計

注) 上記数値は、連結調整を除いた構成比です。
各事業の分類は前ページと同様となります。

[連結]事業別営業利益の増減要因(前年同期比較)

CYBERNET

(単位:百万円)



注) 上記数値は、前期営業利益に対する事業別の増減額となります。
 各事業の分類は前ページの売上高と同様となります。
 調整には、連結調整と全社費用が含まれております。

[個別]ソリューション別の概況

CAEソリューションサービス	
M C A E 分野	<p>主力のマルチフィジックス解析ツールは、新規ライセンス販売は大手総合家電メーカーや電子部品メーカーといった電機業界向けが伸長し、保守契約の更新は民間企業の研究開発投資に支えられ、機械製造業界からの受注が伸びたため、堅調に推移。</p> <p>3次元ダイレクトモデラーは、製造業向けのCAEデータ加工・修復ツールとしてだけでなく、3Dプリンターのデータ編集ツールとして採用されはじめたことで、新規ライセンス販売及び保守契約の更新が共に好調に推移。</p>
光学設計分野	<p>光学設計評価プログラムは、新規ライセンス販売が伸び悩んだことに加え、保守契約の更新も低調に推移。主力の照明設計解析ソフトウェアは、機械精密業界向けの新規ライセンス販売が好調に推移し、保守契約の更新は電機業界を中心に製造業の各分野において好調に推移。</p> <p>フォトリソデバイスソフトウェア及び前期より販売を開始した自動車用照明設計プラットフォームは、新規ライセンス販売及び保守契約の更新が共に好調に推移。</p>
E D A 分野	<p>前期の取扱商品の変更に伴い新たに販売を開始した電子回路基板設計ソリューションは、立ち上げ段階のため低調に推移。</p> <p>プリント基板(PCB)エンジニアリングサービスは、既存取引顧客からの受注が低調に推移。</p>
M B D 分野	<p>当社グループ製品であるシステムレベルモデリング&シミュレーションは、新規ライセンス販売は低調に推移したが、保守契約の更新は自動車業界を中心に好調に推移。</p> <p>モデルベース開発エンジニアリングサービスは、特にADAS関連の技術開発など自動車業界のモデルベース開発への投資意欲が引き続き高く、好調に推移。</p>

(※) ADAS (Advanced Driving Assistant System) : 運転手の支援や運転技術の補完、さらに運転の代理までも行う、先進運転支援システムのこと

[個別]ソリューション別の概況

CAEソリューションサービス	
ビッグデータ分野	イノベーション支援ソリューションは、新規ライセンス販売は自動車業界向けなど大型案件を順調に受注し、保守契約の更新と共に好調に推移。 ビッグデータ可視化エンジン及び特許調査／戦略立案サービスは、新規事業として取り組み中。
テスト・計測分野	当社が開発したFPD (Flat Panel Display) 自動検査システムは、中国をはじめディスプレイの自動検査装置の市場ニーズが高まっていることもあり、好調に推移。
その他分野	当社グループ製品である3次元公差マネジメントツール及び最適設計支援ツールは、大型案件の受注により、新規ライセンス販売が好調に推移し、保守契約の更新も好調に推移。 CAE技術教育ビジネスは、製造業における人材育成ニーズの高まりを受け、設計環境評価サービス及びオンサイト教育サービスが好調に推移。
可視化分野	医用分野での受託開発サービス及びAR (Augmented Reality: 拡張現実) 構築支援サービスが好調に推移。しかし、前期の大規模可視化装置及びシステム導入の大型案件をカバーするには至らず。
ITソリューションサービス	
<p>主力商品である大手開発ベンダのセキュリティ関連ソリューションは、新規ライセンス販売は大型案件の減少により低調に推移したが、更新契約は月額課金モデル、OEMモデル及びクラウドサービスの成長により、好調に推移。 ディスク暗号化ソフトウェア及びIT資産管理ソフトウェアは、セキュリティ事故対策への市場のニーズに支えられ、新規ライセンス販売及び更新契約が共に好調に推移。 クラウドサービスは、新規契約は横ばい、契約更新は好調に推移。</p>	

[個別]応用分野別売上高

CYBERNET

<第3四半期>

(単位:百万円)

	14.12/3Q		15.12/3Q			
	実績	構成比	実績	構成比	前同差	前同比
MCAE	1,137	49.1%	1,144	44.4%	+ 7	100.7%
光学設計	425	18.3%	478	18.5%	+ 52	112.5%
EDA	65	2.8%	76	3.0%	+ 11	117.9%
MBD	113	4.9%	164	6.4%	+ 50	144.6%
ビッグデータ	30	1.3%	122	4.8%	+ 91	397.9%
テスト・計測	29	1.3%	15	0.6%	▲ 14	50.7%
その他	72	3.1%	86	3.4%	+ 14	119.4%
可視化	99	4.3%	124	4.8%	+ 24	124.2%
ITソリューション	343	14.8%	366	14.2%	+ 23	106.9%
合計	2,317	100.0%	2,579	100.0%	+ 261	111.3%

[個別]応用分野別売上高

CYBERNET

<第3四半期累計>

(単位:百万円)

	14.12/3Q累計		15.12/3Q累計			
	実績	構成比	実績	構成比	前同差	前同比
MCAE	4,121	42.8%	4,198	44.1%	+ 77	101.9%
光学設計	2,101	21.8%	2,188	23.0%	+ 86	104.1%
EDA	709	7.4%	241	2.5%	▲ 467	34.1%
MBD	392	4.1%	461	4.8%	+ 69	117.7%
ビッグデータ	176	1.8%	268	2.8%	+ 92	152.3%
テスト・計測	49	0.5%	119	1.3%	+ 70	242.7%
その他	202	2.1%	253	2.7%	+ 50	125.1%
可視化	763	7.9%	445	4.7%	▲ 318	58.3%
ITソリューション	1,124	11.7%	1,346	14.1%	+ 221	119.7%
合計	9,639	100.0%	9,522	100.0%	▲ 117	98.8%

[個別]業種別売上高

CYBERNET

<第3四半期>

(単位:百万円)

	14.12/3Q		15.12/3Q			
	実績	構成比	実績	構成比	前同差	前同比
電気機器	739	31.9%	871	33.8%	+ 132	117.9%
機械・精密機器	363	15.7%	371	14.4%	+ 7	102.1%
輸送用機器	323	14.0%	358	13.9%	+ 35	110.9%
その他製造業	293	12.7%	381	14.8%	+ 88	130.0%
教育・官公庁	193	8.4%	184	7.1%	▲ 9	95.2%
情報・通信	86	3.7%	132	5.2%	+ 46	153.5%
その他	317	13.7%	279	10.8%	▲ 38	87.8%
合計	2,317	100.0%	2,579	100.0%	+ 261	111.3%

[個別]業種別売上高

CYBERNET

<第3四半期累計>

(単位:百万円)

	14.12/3Q累計		15.12/3Q累計			
	実績	構成比	実績	構成比	前同差	前同比
電気機器	3,281	34.0%	3,336	35.0%	+ 55	101.7%
機械・精密機器	1,498	15.5%	1,518	15.9%	+ 19	101.3%
輸送用機器	1,117	11.6%	1,090	11.5%	▲ 26	97.6%
その他製造業	1,032	10.7%	1,008	10.6%	▲ 24	97.6%
教育・官公庁	1,257	13.0%	890	9.4%	▲ 366	70.9%
情報・通信	419	4.4%	583	6.1%	+ 164	139.2%
その他	1,032	10.7%	1,092	11.5%	+ 59	105.8%
合計	9,639	100.0%	9,522	100.0%	▲ 117	98.8%

[個別]ライセンス契約別売上高

CYBERNET

<第3四半期>

(単位:百万円)

	14.12/3Q		15.12/3Q			
	実績	構成比	実績	構成比	前同差	前同比
新規契約	902	43.8%	989	42.8%	+ 86	109.6%
更新契約	1,160	56.2%	1,325	57.2%	+ 165	114.2%
合計	2,063	100.0%	2,315	100.0%	+ 251	112.2%

<第3四半期累計>

(単位:百万円)

	14.12/3Q累計		15.12/3Q累計			
	実績	構成比	実績	構成比	前同差	前同比
新規契約	3,235	37.7%	3,164	36.5%	▲ 70	97.8%
更新契約	5,340	62.3%	5,516	63.5%	+ 176	103.3%
合計	8,575	100.0%	8,681	100.0%	+ 105	101.2%

注) 上記数値は、ライセンス契約形態をとるソフトウェア・ハードウェア・サービス売上高のみを対象としております。

[連結]海外子会社の状況(開発子会社)

CYBERNET

開発子会社	WATERLOO MAPLE INC.	Noesis Solutions NV	Sigmatrrix, L. L. C.
	カナダ	ベルギー	米国
売上前年比 (現地通貨ベース)	101.0%	140.5%	111.2%
売上前年比 (円ベース)	104.7%	136.7%	131.0%
状況	STEM(※)コンピューティング・プラットフォームの販売が好調に推移。	最適設計支援ツールの販売がアジアにおいて好調に推移。	3次元公差マネジメントツール及び幾何公差設計ツールの販売がアジアにおいて好調に推移。

(※) STEM : Science, Technology, Engineering, and Mathematics (科学、技術、工学、数学) という総合的な分野の総称

[連結]海外子会社の状況(販売子会社)

CYBERNET

販売子会社	CYBERNET SYSTEMS (SHANGHAI) CO., LTD.	CYBERNET SYSTEMS TAIWAN CO., LTD.
	中国	台湾
売上前年比 (現地通貨ベース)	152.6%	84.5%
売上前年比 (円ベース)	177.2%	95.7%
状況	取扱ソフトウェア全般において好調に推移し、また、当社開発の光学測定器ビジネスも順調に推移。	STEMコンピューティング・プラットフォームは好調に推移いたしましたが、照明設計解析ソフトウェア及び最適設計支援ツールの販売が低調に推移。

2015年12月期 業績予想

つくる情熱を、支える情熱。
CYBERNET

[連結]当期の業績予想

CYBERNET

(単位:百万円)

	通期			
	15.12E	14.12		
	予想	実績	前同差	前同比
売上高	16,732	15,396	+1,335	108.7%
営業利益	850	810	+39	104.8%
営業利益率	5.1%	5.3%	▲0.2P	
経常利益	980	974	+5	100.6%
経常利益率	5.9%	6.3%	▲0.4P	
当期純利益	506	596	▲90	84.8%
当期純利益率	3.0%	3.9%	▲0.9P	

業績予想について

※P:ポイント

15.12Eの期初業績予想における為替レートは117円/USDを想定したものであります。

[連結]当期の配当予想

CYBERNET

(単位:円)

	14.12	15.12E		
	合計	第2四半期末	期末	合計
	実績	実績	予想	予想
1株当たり配当額	13.80	6.90	6.90	13.80
(普通配当)	11.20	6.90	6.90	13.80
(記念配当)	2.60	—	—	—
1株当たり当期純利益	19.14	9.65	—	16.24
配当性向	72.1%	—	—	85.0%
(参考)純資産配当率	3.1%	—	—	3.0%

14.12の配当については、普通配当11円20銭（中間5円60銭、期末5円60銭）に加え、創立30周年記念配当2円60銭が含まれております。

配当方針

当社は、2015年度より、以下のうちいずれか高い方を配当金額決定の参考指標とし、あわせて今後の企業価値向上に向けての中長期的な投資額を勘案した上で、総合的な判断により決定いたします。

- ・配当性向50%（従来は40%）
- ・純資産（株主資本）配当率3.0%（従来は2.5%）



参考資料

つくる情熱を、支える情熱。
CYBERNET

会社概況(2015年9月30日現在)

CYBERNET

- ◆ 名称 : サイバネットシステム株式会社 (東証第一部 4312)
Cybernet Systems Co., Ltd.
- ◆ 本社 : 東京都千代田区神田練塀町3番地
- ◆ 拠点 : 西日本支社(大阪)、中部支社(名古屋)
- ◆ 設立 : 1985年4月17日
- ◆ 資本金 : 995百万円
- ◆ 社員数 : 連結 562名
個別 344名
- ◆ 事業内容 : CAEソリューション及びITソリューションサービスの提供、
各種コンサルティングの提供
- ◆ 子会社 : 連結 WATERLOO MAPLE INC. (カナダ)
Noesis Solutions NV (ベルギー)
CYBERNET SYSTEMS (SHANGHAI) CO., LTD. (中国)
Sigmetrix, L.L.C. (米国)
CYBERNET HOLDINGS CANADA, INC. (特定目的会社)
Cybernet Systems Holdings U.S. Inc. (特定目的会社)
CYBERNET SYSTEMS TAIWAN CO., LTD. (台湾)
CYBERNET SYSTEMS KOREA CO., LTD. (韓国) (2015年1月末営業停止)

CAEとは、Computer Aided Engineeringの略で、コンピュータによる工学支援のことをいい、コンピュータ上で仮想設計し、仮想実験することです。

[個別]業績の概況

CYBERNET

(単位:百万円)

	15.12/3Q累計	14.12/3Q累計			15.12/3Q累計		
	実績	実績	前同差	前同比	計画	計画差	計画比
売上高	9,522	9,639	▲ 117	98.8%	10,152	▲ 629	93.8%
営業利益	891	1,020	▲ 128	87.4%	1,058	▲ 166	84.3%
営業利益率	9.4%	10.6%	▲ 1.2P		10.4%	▲ 1.0P	
経常利益	922	1,070	▲ 147	86.2%	1,088	▲ 165	84.8%
経常利益率	9.7%	11.1%	▲ 1.4P		10.7%	▲ 1.0P	
四半期純利益	501	615	▲ 113	81.5%	711	▲ 209	70.5%
四半期純利益率	5.3%	6.4%	▲ 1.1P		7.0%	▲ 1.7P	

※P:ポイント

[個別]当期の業績予想

CYBERNET

(単位:百万円)

	通期			
	15.12E	14.12		
	予想	実績	前同差	前同比
売上高	13,222	12,294	+927	107.5%
営業利益	1,278	1,136	+141	112.5%
営業利益率	9.7%	9.2%	+0.5P	
経常利益	1,314	1,192	+121	110.2%
経常利益率	9.9%	9.7%	+0.2P	
当期純利益	843	535	+307	157.5%
当期純利益率	6.4%	4.4%	+2.0P	

業績予想について

※P:ポイント

15.12Eの期初業績予想における為替レートは117円/USDを想定したものであります。

■ 広報室

住 所	〒101-0022 東京都千代田区神田練塀町3番地
TEL	03-5297-3066
FAX	03-5297-3609
E-MAIL	irquery@cybernet.co.jp
Webサイト	http://www.cybernet.jp/

本資料は、投資家の投資の参考となる情報のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

本資料は、当社業務によって得られた各種データに基づいて作成したものです。その安全性を保証するものではありません。

また、資料に記載された意見や予測は資料作成時の当社の見通しであり、当該意見、予測等を使用した結果についてもなんら保証するものではありません。記載された内容が予告なしで変更することもありますのでご注意ください。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

つくる情熱を、支える情熱。
CYBERNET